

林野庁  
プレスリリース

2月1日	「第2回 林政審議会 国有林部会」の開催及び一般傍聴について
2月2日	クリーン開発メカニズム(CDM)プロジェクト政府承認審査結果について
2月3日	<2011 国際森林年関連事業>「グリーンウェイブ2011」の実施について
2月7日	「平成22年度 水源林造成事業評価技術検討会」の開催及び一般傍聴について
2月8日	<2011 国際森林年関連事業>「第9回 国連森林フォーラム(UNFF9)」の結果について
2月9日	<2011 国際森林年関連事業>国際セミナー「持続可能な森林経営の挑戦」の開催について
2月10日	<2011 国際森林年関連事業>田名部農林水産大臣政務官の「『フォレスト・サポーターズ』『生物多様性民間参画パートナーシップ』協働宣言調印式」等への出席について
2月10日	霧島山(新燃岳)噴火による降灰に伴う土石流等への緊急対策について
2月14日	<2011国際森林年関連事業>国際森林年に関する説明・情報交換会(第2回)の開催について
2月16日	<2011国際森林年関連事業>「平成22年度 林業 機械化推進シンポジウム」の開催について
2月22日	林政審議会の開催及び一般傍聴について
2月23日	「平成22年度 第3回 林政審議会 施業部会」の開催及び一般傍聴について
2月23日	全国山火事予防運動の実施について
2月25日	「第1回 森林保険制度に関する検討会」の開催及び一般傍聴について
2月25日	「平成22年度 第4回 木材需給会議」の開催及び傍聴について
2月25日	「平成22年度 林野庁事業評価技術検討会」の開催及び一般傍聴について



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ライブ・ドリアード2011  
「国際森林年メッセージ」一口メモ  
林野庁

ドリアード(DRYAD)とは森に棲む木の妖精のことです。このライブは「木とともに暮らす」をサブテーマにしたシンポジウム・イベントで、国際森林年を契機に「木の国・再び」を再考し、ジャンルや年齢を超え「森の国ニッポン」のイメージを発信していこうとするものです。

「木材会館」(江東区新木場)ひのきホールに用意された座席はほぼ埋まり、「国際森林年と日本の林業」と題したパネルディスカッション、天竜浜名湖鉄道に設置する国産木材使用のデザインベンチのお披露目、ミニ演劇「三つの種」など森や木に関するアトラクションが行われました。



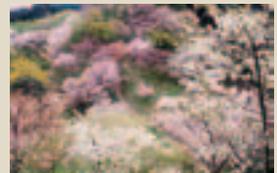
パネルディスカッション(左)、「天使の椅子」お披露目(右)の様子

## サクラの開花状況がわかります。

(独)森林総合研究所多摩森林科学園(東京都八王子市)では、全国に配置されている支所等に植栽されている各種のサクラの開花情報をビジュアルマッピングの形によりホームページ上で提供しています。

サクラの開花は南から北へと進んでいきますので、日々更新していくホームページ上の画像から、居ながらにして全国のサクラの開花状況を知ることができます。

下記 ウェブサイトの「サクラ開花ビジュアルマッピング」をクリックするとご覧になれます  
<http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/>



多摩森林科学園サクラ保存林(東京都八王子市)

国際森林年  
記念シリーズ③

森の旅行

内閣府の「国民生活に関する世論調査」によると、今後の生活で重点をおきたい分野のうち、「レジャー・余暇生活」が最も多く、「所得・収入」、「資産・貯蓄」が続いています。また、レジャー活動の潜在需要では、海外旅行、国内観光旅行がそれぞれ1位、2位を占めている(「レジャー白書2009」)。

ある有名旅行会社のいわゆるエコツアー企画をみると、屋久島や知床等のトレッキング・登山、海外の貴重な野生動物植物の生息地や原生林を訪ねるツアー等が目立つ。中には、マングローブ林の再生プログラムを見学して、植林まで体験するツアーも用意されている。国内でも、旅行会社の企画までには至っていないものの、NPO法人が企画・募集している林業体験ツアーが見られる。国際森林年の今年、こうした森に関する旅行に人気を集まることを期待したい。